



猿払村ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地では猛暑や豪雨など地球規模での異常気象による災害が多発しており、日本各地においても、これまで経験したことのない豪雨や台風等により各地で甚大な被害が発生しています。

これらは、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスによる地球温暖化の進行が原因とされており、今後も様々なリスクが高まり、私たちの暮らしにさらなる被害を及ぼすことが懸念されます。

このため、我が国では2022年10月に、「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする脱炭素社会の実現（カーボンニュートラル）を目指す」ことを宣言したところです。

こうした背景の中、本村では公共施設等のLED照明化や太陽光発電などの新エネ・省エネ設備の導入に対する補助制度の創設など取り組みを進め、低炭素社会構築に向けた環境にやさしいまちづくりを目指してきました。

今後もこれまで以上に村民、事業者、行政が一体となって、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進め、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和 5年 3月30日

猿払村長 伊藤 浩一